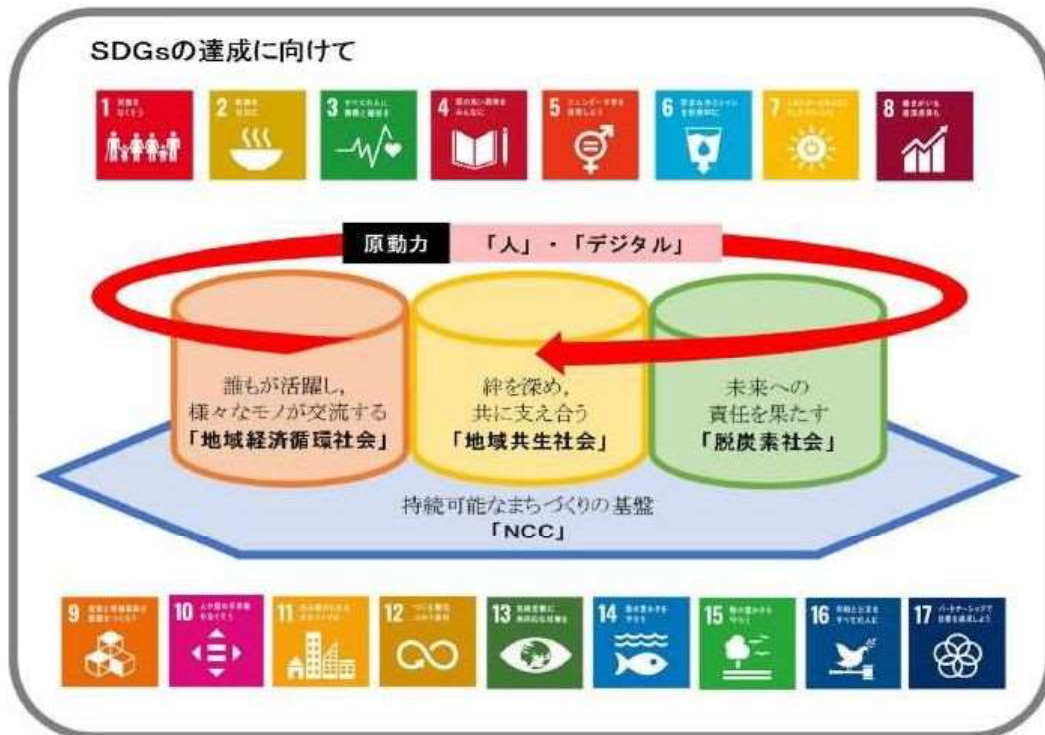


【「スーパースマートシティ」の構成イメージ】

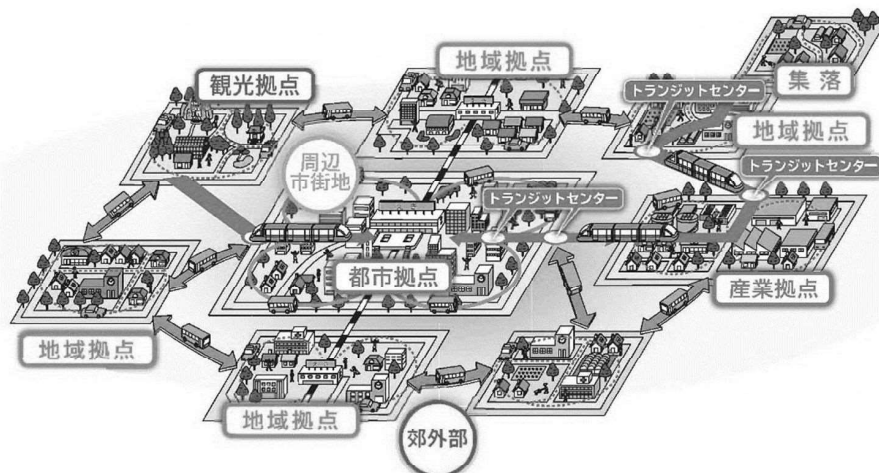
持続可能な都市構造である「NCC」を基盤としながら、「地域共生社会」（社会）、「地域経済循環社会」（経済）、「脱炭素社会」（環境）の3つの構成要素が融合し、「人」と「デジタル」を原動力に発展を続けられるまち



(1) 「スーパースマートシティ」を支える持続可能なまちづくりの基盤「NCC」

コンパクトなエリアへの都市機能や居住の誘導・集積と階層性のある公共交通ネットワークの構築を進めるとともに、都市の防災・減災機能の強化に資する基盤整備等の促進により、激甚化する自然災害にも適応できる、誰もが移動しやすく強靱で持続可能な、まちづくりの基盤となる都市構造

【NCC（ネットワーク型コンパクトシティ）のイメージ】



(2) 「スーパースマートシティ」を構成する「3つの社会」

ア 絆を深め、共に支え合う「地域共生社会」

NCCの強みを生かし、性別や国籍、障がいの有無などに関わらず、子どもから高齢者まで、誰もが生きがいを持ち、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるとともに、地域に思いやりがあふれ、絆を深めながら、孤独や孤立に寄り添い、支えられる社会

イ 誰もが活躍し、様々なモノが交流する「地域経済循環社会」

女性や高齢者、障がい者、外国人など誰もが自分の力を最大限に発揮することができるとともに、地域の事業者の成長や地域内での消費・需要の拡大を図るほか、次世代産業の集積や起業支援、大谷やプロスポーツ等の地域資源の活用などにより高い付加価値を創出し、モノやヒトの交流をNCCが促進することで、地域内において経済が循環する豊かな社会

ウ 未来への責任を果たす「脱炭素社会」

移動しやすく歩いて暮らせるNCCや本市独自の「もったいない」のころのもと、公共交通の利用などによる、脱炭素型ライフスタイルの推進や再生可能エネルギーの地産地消、森林保全などにより、「カーボンニュートラル」を実現し、100年先も輝き続けられる宇都宮を将来世代に残すことができる社会